

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-101	高等学校	地理歴史科	地理総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	地総 046-902	高校生の地理総合		

1. 編修の趣旨及び留意点

グローバル化や情報化、少子高齢化、多発する自然災害など、変化が激しい現代社会の姿を、「地理的な見方・考え方」を働かせながら多面的・多角的にとらえ、平和で民主的な国家および社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書を目指して編修した。特に現代世界における世界各地の生活文化のあり様を身近に感じながら楽しく学習できるよう心掛け、「地理的な見方・考え方」を働かせたり、地理的技能を身につけたりできるようにした。また、現代世界が抱える諸課題の解決に向けて主体的に取り組む態度が身につくよう留意した。

2. 編修の基本方針

○教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、以下のような基本方針に基づいて編修した。

(1) 現代世界が抱える諸課題の解決に向けて主体的に取り組む態度を養う教科書

- ・ 2部1章では、世界各地の多様な習慣や価値観を理解できるよう、まず人々の生活文化と関わりが深い地理的環境をイラストマップや生活文化に関わる写真でとらえる特設「事例の舞台」を設け、その上で、各地の人々の生活文化にどのような特色や背景があるのか、具体的な記述で理解できるようにした。さらに、臨場感のある写真を数多く用いることで、生徒がその国・地域に対してイメージを膨らませやすくなるよう工夫した。
- ・ 2部2章では、さまざまな地球的課題について、発展途上国や先進国および日本といった立場によって状況が異なることや、解決に向けた国際協力の重要性が理解できるようにした。
- ・ 生徒が主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう、学習したことを生かして生徒自身の思考を促す特設「アクティビティ」を設けた。

(2) 思考力・判断力・表現力を養う教科書

- ・ 「地理的な見方・考え方」を働かせながら学習できるように、学習を見通す「主題」や「学習課題」、学習内容を振り返る「節(事例)の振り返り」「確認」「説明」を随所に設けた。
- ・ 写真や図表から地理的な特色をとらえる力を養うことができるよう、写真や図表の読み解きを促す「読み解き」を随所に設けた。
- ・ 地理学習を深めるために必要となる技能を身につけられるよう、特設「SKILL」を適宜設けた。
- ・ 地図帳の活用を通して、学習内容を確認したり、深めたりできるように、「地図帳活用」を随所に設けた。
- ・ 部や章、節ごとに学習内容を振り返る「まとめ」ページにおいても、知識の確認だけでなく、思考力・判断力・表現力を養うことができる問いを設けた。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	○地図や GIS の活用といった基礎的・基本的な地理的技能を幅広い知識として習得できるよう、特設「SKILL」を設けた。また、体験を通して理解が深められるよう、デジタル教材を QR コンテンツとして用意した(第1号)。	p.9、14-
1章 地図や地理情報システムと現代世界		15、16、
1節 地球儀と地図		17、18、
2節 地図と地理情報システム		19、20、22

<p>2章 結びつきを深める現代世界</p> <p>1節 現代世界の国家と領域</p> <p>2節 地図からみる国内や国家間の結びつき</p>	<p>○我が国を愛する態度を養い、領土をめぐる問題の平和的な解決方法を考えるための基礎的な知識を習得できるよう、日本の領土について、図や写真を用いて丁寧に解説した（第5号）。</p> <p>○国家間の結びつきや地域的な枠組みについて理解を深め、幅広い知識を身につけられるよう、交通・通信や観光など、グローバル化が進む現代世界の様子を地図や写真などで示した（第1号）。</p>	<p>p.24-27</p> <p>p.28-35</p>
<p>2部 国際理解と国際協力</p> <p>1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>序説 生活文化の多様性</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p> <p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>3節 世界の産業と人々の生活</p> <p>4節 世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活</p> <p>5節 生活文化の多様性と地理的環境</p> <p>事例1 産業 経済発展と生活文化 —東アジア—</p> <p>事例2 自然環境 季節風(モンスーン)と生活文化 —東南アジア—</p> <p>事例3 宗教・歴史 ヒンドゥー教と生活文化 —インド—</p> <p>事例4 自然環境 乾燥した気候と生活文化 —中央アジア・西アジア・北アフリカ—</p> <p>事例5 宗教・歴史 植民地支配の歴史と生活文化 —サハラ以南アフリカ—</p> <p>事例6 宗教・歴史 伝統の継承と生活文化 —ヨーロッパ—</p> <p>事例7 自然環境 寒冷な気候と生活文化 —ロシア—</p> <p>事例8 産業 世界に影響を与える産業と生活文化 —アメリカ合衆国—</p> <p>事例9 宗教・歴史 開発の歴史と生活文化 —ラテンアメリカ—</p> <p>事例10 宗教・歴史 移民の歴史と生活文化 —オセアニア—</p>	<p>○世界各地の生活文化への理解を深め、幅広い知識を身につけられるよう、写真やイラストマップ、模式図、図表を豊富に用いて視覚的に理解できる構成にした（第1号）。</p> <p>○地形や気候などの自然環境や、産業や言語・宗教、歴史的背景などの社会環境などの視点から、生活文化とその背景にある地理的事象の関係を幅広い知識として身につけ、考察できるようにした（第1号）。</p> <p>○世界各地の生活文化の多様性を認識し、他国を尊重する態度を養うために、イラストマップや親しみやすい写真から生徒が興味・関心をもてる特設「事例の舞台」を設けた（第5号）。</p> <p>○我が国の伝統と文化や、他国を尊重する態度を養えるよう、日本の生活文化と比較しながら、世界各地の生活文化の多様性を学べるように、配列構成を工夫した。また、各項(見開き)の導入では、特色ある生活文化を理解しやすくするために臨場感のある写真を掲載し、本文はその写真を切り口にして記述した（第5号）。</p> <p>○国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、日本との共通点や相違点を意識させる記述やコラム、問いを設け、多様な習慣や価値観をもつ人々との共生について考えを深められる構成にした（第5号）。</p>	<p>p.38-157</p> <p>p.38-67</p> <p>p.74-75、86-87、94-95、102-103、110-111、118-119、128-129、134-135、142-143、150-151、160-161</p> <p>p.70-157</p> <p>p.38-157、158-159</p>

<p>2章 地球的課題と国際協力</p> <p>序説 複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>1節 人口問題</p> <p>2節 食料問題</p> <p>3節 都市・居住問題</p> <p>4節 感染症・衛生問題</p> <p>5節 資源・エネルギー問題</p> <p>6節 地球環境問題</p>	<p>○社会の形成に主体的に参画する態度を養うことができるよう、食料問題や感染症・衛生問題、地球環境問題など、地球的課題について具体的な事例を数多く取り上げた（第3号）。</p> <p>○地球的課題をグローバルとローカルの双方の視点で幅広い知識として身につけられるよう、さまざまなスケールの地図や写真、比較できるグラフなどを豊富に掲載した（第1号）。</p> <p>○自他を敬愛し、協力を重んずる態度を養うことができるよう、さまざまな地球的課題について、発展途上国や先進国および日本といった立場や環境の異なる事例を複数取り上げた（第3号）。</p> <p>○主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、地球的課題に対して生徒自身ができることを考える特設「アクティビティ」を設けた（第3号）。</p> <p>○公共の精神に基づき、社会の発展に寄与する態度を養えるよう、SDGsを用いたコーナー「関連するSDGsの目標」を各課題に設けた（第3号）。</p> <p>○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、さまざまな地球環境問題を紹介しつつ、解決に向けた国際的取り組みも丁寧に取り上げた（第4号）。</p>	<p>p.162-183</p> <p>p.162-183</p> <p>p.164-167、170-173</p> <p>p.186-187</p> <p>p.167、169、173、175、179、183</p> <p>p.162-163、180-183</p>
<p>3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>1章 自然環境と防災</p> <p>1節 自然災害と暮らし</p> <p>2節 日本の自然環境</p> <p>3節 地震・津波や火山活動による災害と防災</p> <p>4節 気象災害と防災</p> <p>5節 自然災害への備え</p>	<p>○自然災害への対策が地域で異なることを理解し、幅広い知識として身につけられるよう、具体的な地域事例を取り上げ、各地の取り組みを示した（第1号）。</p> <p>○自然災害の被害を軽減するために協力を重んずる態度を養い、自然災害による被害を最小限にすることができるよう、日ごろからの協力や支援体制の整備が大切であることを本文や図表などで丁寧に解説した（第3号）。</p> <p>○我が国の伝統や文化を尊重する態度を養うことができるよう、防災に関わる昔からの知恵やさまざまな対策方法について、本文やコラム「クローズアップ」で紹介した（第5号）。</p>	<p>p.194-195、198-199、204、207</p> <p>p.188-189、200-201、210-211</p> <p>p.200、203、211</p>
<p>2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1節 生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>○自ら発見した疑問や地理的な課題について、幅広い知識とともに多面的・多角的に考察する方法を身につけることができるよう、調査テーマの設定方法や調査の手順、調査結果の発表方法を具体的な事例とともに提示した（第1号）。</p> <p>○個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう、身近な地域にはどのような課題があり、その課題に対してどのような解決方法が考えられるかについて、自分の考えをまとめたり、意見交換を促したりする内容とした（第2号、第3号）。</p>	<p>p.216-225</p> <p>p.222-225</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 個別最適な学びに対応できる教科書

- ①教科書全体を通して、QR コンテンツを充実させ、個別最適な学びに対応できるようにした。
- ②2部1章では10の事例地域を用意し、主題ごとに興味・関心がある地域を選択して学習できるようにした。

(2) すべての生徒に読みやすい教科書

- ①色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮した。
- ②本文や側注、キャプションなどの文字については、はっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用した。

(3) 環境に優しい素材と堅牢な造本

- ①造本においては、環境に配慮し、かつ鮮明に発色し、裏写りがしない用紙を使用した。
- ②インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキを使用した。
- ③使用期間中に、破損することがないように、堅牢なつくりにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-101	高等学校	地理歴史科	地理総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	地総-902	高校生の地理総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

○グローバル化する現代社会の姿をとらえた上で、主体的に社会に参画し、平和で民主的な国家および社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう以下の点に配慮した。

1. 日本や世界の諸地域の多様な生活文化を通して国際理解の重要性や意義を学べる教科書

- ・2部1章では、自然環境、産業、言語・宗教・歴史といった地理的環境と人々の生活の関わりを考察の視点として取り上げるとともに、選択事例として10の国・地域を設置し、臨場感のある写真やイラストを用いて、世界各地の多様な生活文化への理解を深められるようにした。
- ・2部1章5節では、日本の衣食住を中心とした生活文化をはじめに取り上げ、世界の多様性を学ぶなかで、日本との共通点や相違点を見つけやすくするよう工夫した。
- ・世界的な視野からみた日本の特徴を理解できるよう、コラム「JAPAN」を随所に設けた。
- ・2部1章の終わりに、日本と世界の生活文化の共通点と相違点を認識した上で、相手の生活文化を尊重する態度を養うことができる特設「アクティビティ 日本の生活文化を紹介しよう！」を設けた。

2. 地球的課題を日本や生徒自身の生活圏に結びつけ、持続可能な社会づくりに参画する態度を養える教科書

- ・2部2章では、地球的課題に対する世界の現状と国際協力の重要性を理解するとともに、SDGsと結びつけ、持続可能な社会づくりに向けて自分たちができることを考える特設「アクティビティ 持続可能な社会に向けて私たちができること」を設けた。
- ・3部1章では、具体事例を紹介するコラム「クローズアップ」を設け、自然災害が発生するしくみや、昔からの日本人の生活のなかにみられる自然災害への備えなどを理解できるようにした。
- ・3部2章では、生徒自身が生活圏にみられる地理的な課題を解決できるよう、調査方法を丁寧に解説した。

3. 「地理的な見方・考え方」を働かせながら思考力・判断力・表現力を養える教科書

- ・各章や節の冒頭には「主題」を設定し、「場所」「人間と自然の関係」などの「地理的な見方・考え方」を働かせながら学習できるようにした。
- ・各項(見開き)の導入には「学習課題」を設定し、課題を考える手がかりとして「着目」を併設した。
- ・各節(事例)末には「節(事例)の振り返り」、各項末には「確認」と「説明」、部や章などの区切りとなる箇所には特設「まとめ」を設け、「地理的な見方・考え方」を働かせながら学習内容をまとめたり、説明したりする活動を充実させた。
- ・写真や図表の随所に、資料を活用したり比較したりするための問いや着目点などを示した「読み解き」を付し、資料活用を通して思考力・判断力が育成できるよう配慮した。
- ・地図帳の活用を通して学習内容を確認したり、深めたりできるよう、各項(見開き)の右下に「地図帳活用」のコーナーを随所に設けた。

4. 地理的スキルを習得し活用できる教科書

- ・地理的スキルを習得できるよう、特設「SKILL」を随所に設けた。特に地図や地理情報システム(GIS)に関わる内容を充実させ、習得したスキルについては随所で活用できるようにした。

5. 現代世界の地理的認識を深められる教科書

- ・理解が深まるよう、本文は平易に記述するとともに、本文を補完する用語解説を随所に配した。また、自然現象のしくみなどを解説した動画やアニメーションをQRコンテンツとして用意した。
- ・中学校での学習内容を振り返ることができるよう、各項(見開き)の左下に「中学校との関連」のコーナーを設けた。

2. 対照表									
図書の構成・内容	学習指導要領 の内容	該当箇所	配当時数						
1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	A (1)	p.6-11 p.12-23	3 2						
1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム									
2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図からみる国内や国家間の結びつき	A (1)	p.24-27 p.28-37	2 5						
2部 国際理解と国際協力	B (1)	p.38-39 p.40-49 p.50-61 p.62-65 p.66-69 p.70-72 p.74-161	1 4 5 2 2 1 13						
1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活 5節 生活文化の多様性と地理的環境 事例1～10									
2章 地球的課題と国際協力 序説 複雑に絡み合う地球的課題 1節 人口問題 2節 食料問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題				B (2)	p.162-163 p.164-167 p.168-169 p.170-173 p.174-175 p.176-179 p.180-187	1 2 1 2 1 2 3			
3部 持続可能な地域づくりと私たち				C (1)	p.188-189 p.190-191 p.192-201 p.202-209 p.210-215	1 1 5 2 2			
1章 自然災害と防災 1節 自然災害と暮らし 2節 日本の自然環境 3節 地震・津波や火山活動による災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え									
2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望							C (2)	p.216-223	4
計 70 時間(予備 3 時間含む)									